

73杯目 こみゅにて@たいむ

国際交流を始めませんか！



平成 24 年 11 月モンゴル国とのキズナ強化プロジェクト

二戸市国際交流協会では、市民の皆さんが幅広く参加する国際交流を推進するため、現在会員を大募集しています。当協会の目的に賛同される方ならどなたでも大歓迎です。外国人の皆さんももちろん大歓迎です。

【二戸市国際交流協会の目的】

二戸市における国際交流活動を推進し、市民の国際理解を深めるとともに国際協力思想の高揚を図り、国際社会に対応した個性豊かな人材育成とまちづくりに寄与する。

今年度は①国際交流にかかる講演会など
②外国語コミュニケーション講座③在住外国人と市民との交流など、各種事業を計画しています。

会員になった人には、国際理解を深めるための様々な情報を提供します。

二戸市民、外国人・在住外国出身者の皆さんと共に楽しく過ごせるイベントに参加したり、私にもできる国際交流って何だろうと考えてみたり…皆さんも気軽に「国際交流」してみませんか！皆さんの参加をお待ちしています。

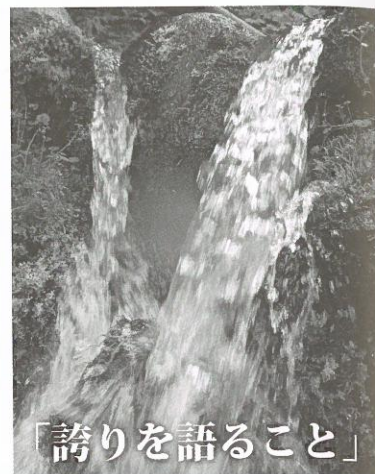
問い合わせ、申込先 二戸市国際交流協会事務局（地域振興課内 内線 382）

—地域おこし協力隊通信—

たからぼの中



四かき目



「誇りを語ること」

最近、以前より本を読む機会が増えました。その理由は、市内で月一回ペースで行っているエコツアーのためです。協力隊としてお手伝いをしていますが、現地に向かうバスの中で事前説明をする際、いかにお客さんを引き込むかが重要だ

「事件は会議室で起きているんじゃない、現場で起きているんだ！」

「観光は表面の情報を伝えるのではない、その地で培われてきた誇りを語る場である」と。（地域おこし協力隊・野澤優介）

「本を読みなさい！」と言われる続けた小学校時代。そんな親の言葉には耳を貸さず、野球に明け暮れていた日々でした。今となつては少し後悔しています。なぜなら、本を読む集中力を養う機会を自分で失くしていたことに気づいたからです。

その情報を伝え「へえ」「そうだったのですか」とお客さんを感じさせた時は、少しでも二戸市について知ってもらえたこと、本を読んでもよかったことの両方に安堵します。

かつて人気であったドラマの主人公の刑事が言っていました。が、本当にその通りです。外部の者がどんなにその土地の本を読み知識を得ても、どんなに知識を生かそうとガイドの練習をしても、その地で生きた人々の昔と今を繋ぐ一言にはかないません。

やはり、現地から生まれる物語こそ、ツアーで皆さんに感動を与えられる情報であると痛感しました。

地域おこし協力隊企画・二戸の宝を訪ねる旅

謎に包まれたいにしへの浄法寺を訪ねるミステリーツアー

～天台寺とお盆膳～

- 開催日時 8月3日（土）午前9時～午後3時30分
- 集合場所 午前8時45分 二戸駅西口
- 参加費 3,500円（ガイド料・昼食代・バス代・拝観料・入館料・保険料含む）

- 募集人数 20人（申込順）

※詳細は資料をご請求ください。

- 問い合わせ、申込先 銀河鉄道観光（☎ 019-654-1489）



仁王門



地域おこし協力隊ブログ (JOIN 内)

<http://www.iju-join.jp/chiikiokoshi/blog/>